



アメリカ議会図書館 映画コレクション

Film Treasures from *the Library of Congress*

2019年

10月31日(金) — 11月10日(日)

11月の休館日▶▶▶月曜日

主催: 国立映画アーカイブ、東京国際映画祭
モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)
アメリカ議会図書館
助成: アメリカ合衆国大使館



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

国立映画アーカイブ[2階]
長瀬記念ホール OZU
定員=310名(各回入替制・全席自由席)

前売券

10月17日(金)10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各150席分)を販売します。

[Pコード:550-462]

前売料金: 一般1,300円/高校・大学生・シニア1,100円/小・中学生、障害者(付添者は原則1名まで)520円/国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ900円(学生)、1,000円(教職員)

- ・別途発券手数料がかかります。
- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、入場時に証明できるものをご提示ください。
- ・チケット購入方法や手数料については、4頁をご覧ください。

当日券(発券=2階受付)

料金: 一般1,300円/高校・大学生・シニア1,100円/小・中学生、障害者(付添者は原則1名まで)520円/国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ900円(学生)、1,000円(教職員)

Student U30

各回先着20名まで、30歳以下の学生の方は、学生証提示により無料となります(当日券のみ)。

◆当日券で入場される方には、開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。各日の開館時間については4頁のスケジュール欄をご覧ください。

- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・当日券の発券は、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・当日券の発券は各回1名につき1枚のみです。

入場方法

- ①前売券をお持ちの方は、開場時(開映30分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。
 - ②その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。
- 前売券・当日券は当日・当該回のみ有効です。

アメリカ議会図書館 映画コレクション

Film Treasures from *the Library of Congress*

アメリカ議会図書館は、書籍のみならず、地図・版画・楽譜・写真・レコードなどさまざまな資料の膨大なコレクションで知られる、世界最大の図書館の一つです。とりわけ1870年以降は、著作権登録を一元的に管理する機能を備えて各領域の著作物の法定納付を受け入れるようになり、その収集能力を大幅に強化しました。そして映画も、早くも1894年に—フィルムではなくペーパー・プリント*という形態ではありましたが—議会図書館に納付され、初期映画の貴重なコレクションとなりました。その後、議会図書館は映画フィルムの収集も軌道に乗せ、1989年には国家映画登録(National Film Registry、以下NFR)**制度を創設するなど、世界の映画保存においても先駆的かつ重要な試みに挑んでいます。その映画コレクションは、現在では200万点以上に達し、合衆国最大規模となっています。

また、議会図書館は、日本及び当国立映画アーカイブにとっても関係の深いフィルムアーカイブです。主に第二次世界大戦〜占領期に、アメリカおよび連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)によって収集・接収されたと考えられる、約1,300本に及ぶ可燃性フィルムの戦前日本映画は、戦後長い間、議会図書館で保管されていました。そして1967年以降に、東京国立近代美術館を作品の受け入れ先として返還され、現在は当館の重要なコレクションの一部(いわゆる「返還映画」)となっています。

本上映会「アメリカ議会図書館 映画コレクション」は、東京国際映画祭、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、アメリカ議会図書館との共同により、議会図書館の誇るアメリカ映画の宝を紹介する試みです。大恐慌後の社会状況を色濃く反映した1930年代前半の作品から、第二次世界大戦後の新たな潮流を象徴した映画、また、キング牧師の半生を再構成した日本未公開の決定版ドキュメンタリー、さらにはデザイナー/建築家のレイ&チャールズ・イームズ夫妻の独創的な映画まで、アメリカ合衆国の精神や文化を表現した多様な9プログラム(14本、うち4本はNFR作品)を、議会図書館が主に近年新たに作製した35mmプリントを借用して上映します。すべての映画ファン、そしてアメリカ合衆国に関心をお持ちの方にとって必見の作品ばかりです。ぜひご来場ください。

*ペーパー・プリント—当時のアメリカの著作権法では映画フィルムに関する規定が存在しなかったため、著作権登録を希望する者は、映画フィルムを印画紙に複製し、連続する写真として提出した(同法は1912年に改定され、フィルムも対象となった)。

**国家映画登録—1980年代、アメリカでは白黒映画を着色して商業利用する動きがあり、その是非をめぐる大きな議論となった。それを重要な契機として、1988年に全米映画保存法が制定され、映画保存委員会が議会図書館内に設置された。同委員会は、翌89年から毎年25本の「文化的、歴史的、美学的に重要な」アメリカ映画を選出し、それらの完全かつ真正なバージョンを保持する者は、それらの映画フィルムを恒久的に保存することが義務付けられた。2018年まで計750本の映画が登録されている。

■◎=監督 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色 ◎=撮影
◎=美術 ◎=音楽 ◎=出演 ◎=声の出演
◎=解説・ナレーション

■特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。

■上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。

■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

1 11/5(火)7:00pm 11/7(木)3:00pm

街の風景(79分・35mm・白黒)Street Scene

ビューリッツァー賞受賞戯曲を、劇作家エルマー・ライスが自ら脚色。多様な出自の人々が暮らすニューヨークのアパートが舞台で、ほとんどの場面がその玄関前で展開される。会話のリズム感を重視した演出に始まり、劇的緊張が頂点に達するクライマックスでは、精巧に作られた巨大なセットの中をカメラが縦横無尽に駆けめぐり、サイレント時代のキング・ヴィダーの傑作『群集』(1928)に通じる、圧倒的熱量を持った光景が現出する。1933年日本公開。

Preserved by The Library of Congress

[字幕協力:ジュネス企画]

1931(サムエル・ゴールドウィン・ピクチャーズ/フィチャー・プロダクションズ)◎キング・ヴィダー◎◎エルマー・ライス◎ジョージ・パーンズ、グレッグ・トランド◎リチャード・デイ◎アルフレッド・ニューマン◎シルヴィア・シドニー、ウィリアム・コリアー・ジュニア、エステル・テイラー、ビューラー・ボンディ、デイヴィッド・ランドー、マッド・マクヒュー、ラッセル・ホプトン、グレタ・グランステッド

2 11/3(日・祝)1:00pm 11/6(水)3:00pm

飢ゆるアメリカ(71分・35mm・白黒)

Heroes for Sale

第一次世界大戦の傷痍軍人トム(バーセルメス)は、戦後に鎮痛剤のモルヒネ依存症となり職を失ってしまうが、共産主義者の発明家と出会ったことで人生が大きく変わる。退役軍人の失業や薬物中毒、労働争議、赤狩りといったアメリカ大恐慌期の様々な要素を、恐るべきスピードでよどみなく語りきる。「プレコード」期のハリウッドを代表する一本。1933年3月に新たに大統領となったフランクリン・ルーズベルトへの期待も描かれる。1934年日本公開。

Preserved by The Library of Congress

[字幕協力:ジュネス企画]

1933(ワーナー・ブラザーズ)◎ウィリアム・A・ウェルマン◎ロバート・ロード、ウィルソン・マイズナー◎ジェイムズ・ヴァン・トウリズ◎ジャック・オーキー◎バーナード・コーン◎リチャード・バーセルメス、ロレッタ・ヤング、ロバート・バラット、ゴードン・ウェストコット、アリーン・マクマホン、バートン・チャーチル、グラント・ミッチェル



街の風景



飢ゆるアメリカ

3 11/5(火)3:00pm 11/10(日)1:00pm

結婚スクラム(92分・35mm・白黒)

Four's a Crowd

新聞記者(ラッセル)、元編集長(フリン)、新聞社社長(ノウルズ)、社長の婚約者(ハヴィランド)の4人の恋と仕事を描く、けたたましいスクリュエボール・コメディ。鉄道模型をこよなく愛する大富豪のジョン(コノーリー)から仕事を奪おうと考えた元編集長ロバートは、彼に会うため豪邸に侵入するが…。こじれにこじれた四角関係をも明快に描き出す、ハリウッド映画の巧みな物語展開を堪能できる愉快な傑作。1939年日本公開。

Preserved by The Library of Congress

1938(ワーナー・ブラザーズ)◎マイケル・カーティス◎ウォレス・サリヴァン◎ケイシー・ロビンソン、シグ・ハーツィグ◎アーニー・ハラー◎マックス・バーカー◎ハインツ・ロームヘルド、レイ・ハインドルフ◎エロール・フリシ、オリヴィア・デ・ハヴィランド、ロザリンド・ラッセル、パトリック・ノウルズ、ウォルター・コノーリー、ヒュー・ハーバート、メルヴィル・クーパー

4 11/3(日・祝)4:00pm 11/8(金)3:00pm

裸の町(96分・35mm・白黒)The Naked City

殺人犯を追いつめるNY市警の刑事たちの奮闘をドキュメンタリータッチで描き、後の犯罪映画に多大な影響を与えた、ジュールス・ダッシンの代表作。製作者マーク・ヘリンジャーが冒頭で説明する通り、犯人の逃走シーンなどでロケーション撮影が多用され、NYの街そのものがもうひとりの主役となっている。脚本のアルバート・モルツは、赤狩りの犠牲となった「ハリウッド・テン」のひとり。下院非米活動委員会での証言を拒否し、後に有罪判決を受けた。1948年日本公開。2007年にNFRに登録。

Preserved by The Library of Congress

[字幕協力:コスミック出版]

1948(マーク・ヘリンジャー・プロダクション/ユニヴァーサル・インターナショナル)◎ジュールス・ダッシン◎◎マルヴィン・ウォルド◎アルバート・モルツ◎ウィリアム・ダニエルズ◎ジョン・F・デキュー◎ミク로스・ローザ、フランク・スキナー◎パリー・フィッツジェラルド、ハワード・ダフ、ドロシー・ハート、ドン・テイラー、テッド・デ・コルシア、ハウス・ジェイムソン◎マーク・ヘリンジャー



結婚スクラム © Image courtesy of Park Circus/Warner Bros.



裸の町 © Image courtesy of Park Circus/Master Licensing

5 11/2(土)12:30pm 11/7(木)7:00pm

摩天楼 (113分・35mm・白黒) *The Fountainhead*

アメリカのリバタリアニズム(完全自由主義)の精神的支柱のひとり目されるアイン・ランドの小説『水源』(1943)が原作。自らの信念と欲求以外の何物にも従わない建築家ハワード(クーパー)は、妥協することなく自らの建築の理想を追求しようとする。情念に突き動かされる人物を多く描いたヴィダー監督による、アメリカ個人主義の極限ともいえる強烈な作品。撮影監督のロバート・パークスは『めまい』(1958)などヒッチコック作品でも有名。1950年日本公開。

Preserved by The Library of Congress
[字幕協力: コスミック出版]

1949(ワナー・ブラザーズ) 監キング・ヴィダー 脚アイン・ランド 監ロバート・パークス 監エドワード・キャリア 脚マックス・スタイナー 脚ゲーリー・クーパー、パトリシア・ニール、レイモンド・マッセイ、ケント・スミス、ロバート・ダグラス、ヘンリー・ハル、レイ・コリンズ

6 11/6(水)7:00pm 11/10(日)4:00pm

ウィリーが凱旋するとき

(82分・35mm・白黒)

When Willie Comes Marching Home

アメリカのどこにでもありそうな町に住む平凡な青年クラッグス(デイリー)は、戦争が勃発して真っ先に最前線へ志願し、町の人たちもそれを応援するが、なんと配属先はすぐ近くの訓練所。クラッグスは一瞬のうちに町の笑い者になる。名誉を取り戻すため遠征を志願し続けるクラッグスが、思いがけず「英雄」になっていくさまが、スラップスティックなユーモアと軽やかなリズムで描かれる。ジョン・フォードが戦時中の愛国主義を諷刺的に描いた異色作。

Preserved by The Library of Congress
[字幕協力: ブラネット・プラスワン]

1950(20世紀フォックス) 監ジョン・フォード 脚サイ・ゴンバグ 脚メアリー・ルース、リチャード・セイル 監レオ・ヴァー 脚ライル・ウィーラー、チェスター・ゴア 脚アルフレッド・ニューマン 脚ダン・デイリー、コリンヌ・カルヴェ、コリン・タウンゼント、ウィリアム・デマレスト、ジェイムズ・ライドン、ロイド・コリガン、イヴリン・ヴァーデン



摩天楼 © Image courtesy of Park Circus/Warner Bros.



ウィリーが凱旋するとき Motion Picture © 1950 Twentieth Century Fox Film Corporation. Renewed 1978 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

7 11/1(金)7:00pm 11/9(土)12:00pm

クール・ワールド (106分・35mm・白黒)

The Cool World

今年生誕100年となるシャーリー・クラーク監督作品。ハーレムのスラム街に住む黒人少年デューク(クラントン)は、ピストルを手に入れ、グループのリーダーにのし上がる野望を抱いている。デュークは計画を実現させるべく数々の非行を繰り返す、ついに取り返しのつかない事態に陥る。人種差別的厳しい現実で置かれ、暴力や犯罪が横行するハーレムの風景が、不安定に揺れるカメラによって捉えられ、臨場感を生み出す。マル・ウォルドロンが手がけたジャズ音楽は、人物のアクションに同調しながら、荒廃した街の雰囲気を一層引き立たせる。1965年日本公開。1994年にNFRに登録。

This film was preserved by the Library of Congress National Audio-Visual Conservation Center from original camera negatives in the Zipporah Films Collection.

1963(ワイズマン・フィルム・プロダクションズ) 監シャーリー・クラーク 脚ウォーレン・ミラー、ロバート・ロッセン 脚カール・リー 脚ベアード・ブライアント 脚ロジャー・ファーマン 脚マル・ウォルドロン 脚ハンブロン・クラントン、ヨランダ・ロドリゲス、クラレンス・ウィリアムズ、ゲーリー・ポリング

8 10/31(木)6:00pm 11/9(土)3:00pm

キング モンゴメリーからメンフィスまでの記録 (182分・35mm・白黒)

King: A Filmed Record... Montgomery to Memphis

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア(1929-1968)が、アラバマ州モンゴメリーでバス・ボイコット運動に立ち上がり(1955)、テネシー州メンフィスで凶弾に倒れる(1968)までの過程を、その時々ニュース映画のフッターや音声テープのみを用いて再構成した作品。何よりも、言葉と信仰の力によって民衆の心を動かすキング牧師のスピーチが圧倒的で、アメリカ合衆国そしてデモクラシーと向き合うすべての者にとって必見の作品だろう。各パートの合間には、(シドニー・ルメットとジョゼフ・マンキーウィッツの演出によって)ハリウッドスターたちが詩や散文を朗読する場面が挿入されている。1999年にNFRに登録。2012年に議会図書館とキノ・ローバー社によって復元された版を日本初上映する。

*途中10分の休憩をはさみます。

Preserved by The Library of Congress

1970(コモンウェルス・ユナイテッド・エンタテインメント) 製作イーリー・ランドー、リチャード・カプラン



クール・ワールド Photo courtesy of Zipporah Films, Inc. www.Zipporah.com



キング モンゴメリーからメンフィスまでの記録 © Kino Lorber

9 11/2(土)3:30pm 11/8(金)7:00pm

イームズ作品集 (計70分)

アメリカのミッドセンチュリーを代表するデザイナーとして知られるチャールズ&レイのイームズ夫妻は、家具や建築のみならず、人々の暮らしや文明そのものの仕組みと真剣に戯れ、そのエッセンスを正確に抽出し、簡潔かつ優雅に図解して人々に示すことができた稀有な存在であり、彼らが製作した120本以上に及ぶ短編映画は、そのどれもが驚きに満ちている。イームズ・チェアのコンパクトな紹介に始まり、チャールズが青年時代に深く影響を受けたメキシコの祝祭儀式を美しい写真を中心に構成した作品、おもちゃの汽車を動かしたいという子供のような願いを見事に達成した心躍る作品、コンピュータの原理と可能性を恐るべき正確さで洞察したアニメーション、アメリカ文化の創造に多大な貢献を果たしているスミソニアン協会の歴史を概説した作品、そして1998年にNFRにも登録された代表作『パワーズ・オブ・テン』の珠玉の6本を上映する。また、11/2(土)の上映後には、建築家の鈴木了二氏を招いてトークイベントを行う。

Preserved by The Library of Congress

イームズ・ラウンジ・チェア (2分・35mm・白黒)

1956 監製作 チャールズ&レイ・イームズ 脚エルマー・バーンスタイン

メキシコの祝祭~死者の日

(15分・35mm・カラー) *Day of the Dead*

1957(ミュージアム・オブ・インターナショナル・フォーク・アート) 監製作 チャールズ&レイ・イームズ 脚ラウリンド・アルメダ 脚エドガー・カウフマン・ジュニア

おもちゃの汽車のトッカータ

(14分・35mm・カラー) *Toccata for Toy Trains*

1957 監製作 レイ&チャールズ・イームズ 脚エルマー・バーンスタイン

情報機械 (10分・35mm・カラー)

The Information Machine or Creative Man and the Data Processor

1957 (IBM) 監製作 チャールズ&レイ・イームズ 脚アニメーション ロレス・カナータ 脚ジョン・ホワイトニー 脚エルマー・バーンスタイン

スミソニアン協会 (20分・35mm・白黒)

The Smithsonian Institution

1965 (IBM) 監製作 チャールズ&レイ・イームズ 脚グレン・フレック 脚エルマー・バーンスタイン 脚ロナルド・ロング、アーノルド・モス、アラン・ネイピア 脚アリスティア・クック、ウォルター・クロンカイト

パワーズ・オブ・テン (9分・35mm・カラー)

Powers of Ten

1977(イームズ・オフィス) 監製作 チャールズ&レイ・イームズ 脚エルマー・バーンスタイン 脚フィリップ・モリソン

上映後トークのお知らせ

2019年11月2日(土) 「イームズ作品集」上映後

時間: 4:50pm - 5:30pm(予定)

ゲスト: 鈴木了二(建築家)

*トークイベントからの参加はできません。



スミソニアン協会

© Eames Office LLC (eamesoffice.com)

アメリカ議会図書館 映画コレクション

Film Treasures from **the Library of Congress**

月	火	水	木	金	土	日
10 ・ 11 月	28 					
	3 結婚スクラム (92分)	2 飢ゆるアメリカ (71分)	1 街の風景 (79分)	4 裸の町 (96分)	7 クール・ワールド (106分)	3 結婚スクラム (92分)
4 街の風景 (79分)	5 ウィリーが凱旋するとき (82分)	6 摩天楼 (113分)	7 イームズ作品集 (計70分)	8 キング モンゴメリーからメンフィスまでの記録 (182分)	9 イームズ作品集 (計70分)	6 ウィリーが凱旋するとき (82分)

■ 作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。 ■ 11月2日(土)3:30pmの回は、上映終了後にトークイベントを行います。

展示室(7階)

【企画展】

映画雑誌の秘かな愉しみ

The Discreet Charm of Film Magazines

2019年9月7日(土)～12月1日(日)

* 月曜日は休室です。

主催: 国立映画アーカイブ

協力: 群馬県太田市立新田図書館

映画が新しい視覚メディアとして普及し始めた明治末期以来、その発達と歩を合わせながら、数多の映画雑誌が生み出されてきました。本展覧会では、今年創刊100周年を迎えた「キネマ旬報」の創刊号や、日本初の映画雑誌とされる「活動写真界」などの貴重な雑誌を含む、明治・大正期から近年までの多種多様な映画雑誌を通じて、その豊かな歴史をたどります。映画雑誌と映画の愉しみを再発見する機会となるでしょう。

* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日12時より
11月2日

NFAJ Digital Gallery
NFAJ デジタル展示室 Digital Gallery
下記ホームページからお入りください
<https://www.nfaj.go.jp/online-service/digital-gallery>

前売券の購入方法

[Pコード: 550-462]

チケットぴあ店舗、セブンイレブンで購入

▶ 10月17日(木)10:00より各プログラムの前日まで

⇒ 前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。

受付電話(0570-02-9999)で購入

▶ 10月17日(木)10:00より各プログラムの4日前23:59まで購入可能

⇒ 前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。

* 毎週火・水2:30～5:30はシステムメンテナンスのため受付休止となります。

チケットぴあのサイト

(<https://w.pia.jp/t/nfaj-library/>)で購入

▶ 購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。

⇒ 前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円、また決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。

* 本前売券購入に、システム利用料はかかりません。

* 手数料等の詳細については、上記チケットぴあのウェブサイトをご覧ください。

前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。



「活動写真界」1911年11月(第26号)



「キネマ旬報」1919年7月11日創刊号 群馬県太田市立新田図書館所蔵

トークイベントのご案内 映画雑誌小講座

10月19日(土)

「戦後、映画雑誌の黄金時代をめぐって」
対談: 佐藤忠男(映画評論家・日本映画大学名誉学長) × 高崎俊夫(書籍編集者・映画評論家)

11月16日(土)

「いま、映画雑誌とは」
対談: 田野辺尚人(「別冊映画秘宝」編集長) × 平嶋洋一(株式会社キネマ旬報DDエディター)

2階受付では、「NFAJ ニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



【常設展】企画展に併設

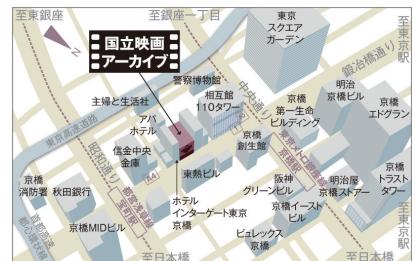
NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFAJ Non-film Collection
[Captions in Japanese, English, Chinese and Korean]

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年、国立映画アーカイブ(旧フィルムセンター)が収集してきた多彩なコレクション(ポスター・ステル写真・雑誌・製作資料・業界資料・カメラなど機械類・映画人の遺品・映像など)によってたどります。

開室時間=午前11時～午後6時30分(入室は午後6時まで)
* 毎月末金曜日は午前11時～午後8時(入室は午後7時30分まで)
料金(常設展・関連企画共通) = 一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / シニア、高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* 国立映画アーカイブの上映観覧券(観覧後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金も適用されます。
* 2019年10月22日(火・祝)は、「即位礼正殿の儀」を記念して展示を無料でご覧いただけます。
* 11月3日(日・祝)「文化の日」は無料でご覧いただけます。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口9より徒歩7分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR
Instagram: nationalfilmarchiveofjapan